

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2019/5/6
所属学部・ 研究科・学府	理学部
所属学科・専攻	生物学科

1. 留学先について

留学先大学名	アルバータ大学 University of Alberta							
留学先所属学部等	理学部 Faculty of Science							
留学期間	出発日	2018/8/27	入学日	2018/9/4	修了日	2019/4/26	帰国日	2019/4/27
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()					
	通学時間	10分					<input type="radio"/> On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	() 人部屋	<input type="checkbox"/> その他()				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="radio"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="radio"/> その他(ランドリー)	
食事	自炊	10 %	学食	70 %	外食	20 %	その他	() %
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ傷害火災保険						
	派遣先大学指定の保険(名称)	UAHIP					<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田(飛行機) ⇄		カルガリー(飛行機)			⇄ エドモントン(電車)		

2. 留学にかかった費用について

総費用	200万 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input type="radio"/>	両親	180万 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/>	JASSO	円	<input type="checkbox"/>	その他名称()		<input type="checkbox"/>		円
その他	<input type="radio"/>	千葉大学助成金	20万 円	<input type="checkbox"/>	その他()		<input type="checkbox"/>		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	2万 円	<input type="radio"/>	その他(クレジットカード)	円
留学中	<input type="checkbox"/>	海外送金	<input type="checkbox"/>	キャッシング	<input type="radio"/>	その他(クレジットカード)

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現金、クレジットカード、振り込み
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			24万	円
海外旅行保険			20万	円
OSSMA			2万	円
査証・在留許可証			1万	円
住居			60万	円
食費			32万	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			4万	円
その他大学に支払った経費			5万	円
光熱費			0円	円
その他 (旅費)			20万	円
その他 (生活費)			32万	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	○	無
1 IMIN371	正規	3	有	○	無
2 BIOL367	正規	3	有	○	無
3 GENET304	正規	3	有	○	無
4 BIOL221	正規	3	有	○	無

5	IMIN200	正規	3		有	○	無
6	BIOL366	聴講	3		有	○	無
7					有		無
8					有		無
9					有		無
10					有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

Bear Tracks というオンラインで履修登録を行う。
Prerequisitesが必要な授業をとる場合は直接コンタクトをとった。

3-2. 授業内容、方法に関して

3-3. 語学力について

IELTS6.5

3-4. 図書館など学内施設について

学内に図書館は2つ。
フードコート、学生会館、ジム、プール、バー、映画館など施設は充実している。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

International Houseという、留学生と現地の学生向けのon Campasの寮に住んだ。
一人部屋で、ベッド、勉強机、冷蔵庫、シャワー、トイレ、洗面台、簡易クローゼットがついている。
キッチンとランドリー、ラウンジが共有。

4-2. 食生活について

学内にたくさん飲食店があるので利用したり、スーパーで買ったりした。物価は日本より少し高いか同じくらい。日本、中華、韓国、ハワイ、インド、ギリシャ、メキシコなど多国籍な飲食店が多くあったり、日本の食材もアジアスーパーで手に入るのので、食に不満を感じることはほとんどなかった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

学内にはWi-Fiがあり、利用可能である。大学構内にいけばネットが使えずに困ることはない。携帯電話はFidoというカナダのキャリアを利用した。渡航前から申し込むとSIMカードが届くので、カナダに到着したときから携帯が使える。料金プランは数種類あったが月々7000円ほどのものを利用した。

4-4. 服装について

ジーンかスキニーにパーカー。冬場はそれに厚手のコートを羽織った。冬はとても寒いですが室内は暖かいので外に長時間いるのであれば中に着込む必要はない。

4-5. 健康管理について

特別気をつけたことはなかった。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

特に大きな病気もけがもせず、保険も利用することはなかった。

4-7. 課外活動について

特になし。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし。

4-9. 日本から持参してよかったもの

筆記用具は日本のものが質がよい。コンタクトレンズ、めがね。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ホッカイロ、タイツ

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

カナダの人はみなとてもフレンドリーで、席を譲ったり、困っている人に声をかけたり、さりげない親切をみな当たり前前に行ってくれるので驚いた。お店の中で知らない人に突然「そのコートカッコいいね、どこで買ったの？」などと話しかけられることもあった。レジで店員と会話をすることも頻繁にあって日本との違いを感じた。

また、カナダの人といっても、いろんな国からの移民であったり、留学生が多くいるので、英語のアクセント、訛りも様々であったり、英語でない言語も多く飛び交う。外見も様々で、日本人の私も、「外国人」として見られている感じがあまりしなかった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

バンフ 2018年10月(3日間) 約5万円
バンクーバー旅行 2018年12月(2日間) 約15万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

冬は日照時間が短く憂鬱になってしまうことが多々あった。街にでかけたり、友達とご飯を食べにいったり、ジムで運動したりして気分転換を図った。

5. その他

5-1. 留学先大学について

アルバータ大学には、いろいろなバックグラウンドをもつ人が多くいて、カナダに留学しているが、いろいろな国の人と知り合うことができる。留学生を受け入れる体制も整っている。施設も充実していて、24時間空いている図書館のスペースもあり、便利である。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

冬場の天候が最悪で、それを除けば留学するにはとてもいい大学だと思う。

5-3. 留学を終えて

留学前にも、それなりに覚悟していたが、想像以上に勉強が大変で、厳しいと感じ、思い通りになったことは少なかった。マイナス20℃を下回る厳しい冬を経験したり、留學生活での苦勞を通して、心と体が強くなった。また、いろんな国からの留学生や、さまざまなバックグラウンドを持つ人と知り合えたことはとても刺激的な経験になった。今後はこの留学の反省や、得たことを生かしなが、またいろんなことに挑戦していきたい。